

各種選挙 連合滋賀推薦決定！



甲賀市議会議員選挙

ふくい すすむ
福井 進
立憲民主党 現1期わかさ けんた
若狭 健太
国民民主党 新人

湖南市議会議員選挙

おくむら みきお
奥村 幹郎
立憲民主党 現2期ほった しげき
堀田 繁樹
立憲民主党 現3期

東近江市議会議員選挙

なかむら かずひろ
中村 和広
立憲民主党 現1期にしかわ きより
西川 清里
立憲民主党 新人

野洲市議会議員選挙

やまもと つよし
山本 剛
立憲民主党 現3期かわべ りょうめい
川部 亮
立憲民主党 新人

米原市議会議員選挙

10月12日告示

10月19日投票

第27回参議院議員選挙結果 滋賀選挙区「堀江あきら」候補 惜敗

投票率 59.69% (前回 : 54.59%)

2025年7月3日公示7月20日投開票で執行されました第27回参議院議員通常選挙におきまして、推薦候補の「堀江あきら」候補が激戦を戦い抜きましたが、当選を果たすことができませんでした。

また、全国比例の産別候補については、10候補のうち9候補が当選いたしました。

候補者	票数・結果
堀江あきら	161,272 票
自民党候補	202,850 票 当選
日本維新の会候補	124,017 票
参政党候補	119,207 票
共産党候補	50,097 票
NHK 党候補	7,635 票
無所属候補	5,387 票



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2025年10月2日
連合滋賀 第322号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・白木 宏司
編集・相澤三千代
(定価 1部61円)
印刷 ユメディア株式会社

滋賀県地域別最低賃金

1,080円 ^{時給額} ^{63円アップ}
2025年10月5日改定されます！

労働者側の主張としては、中央最低賃金審議会において公益見解として、「労働者の生計費」「賃金」「通常の事業の賃金支払い能力」それらを総合的に勘案し、今年度は改定の引上げ額は、Aランク63円、Bランク63円、Cランク64円の目安(これまでの最高額)が示された。とりわけ2020年代には全国加重平均1,500円を目指すとした政府方針も加味した結果と考える。地域別最低賃金で働く労働者には労働組合のない職場で働く労働者が多く含まれており、その方々のためにも新たなステージに移った日本経済を安定した巡航軌道へ導くためには、最低賃金の引き上げは必要である。また、地域間格差の是正がより求められると共に、雇用間格差、男女間格差等様々な格差が生じている中で、最賃近傍で働く方々の暮らしは昨年以上に苦しい状況にあり、地域別最低賃金の引き上げは重要である。

使用者側の主張としては、昨年度の最低賃金は50円と大幅引き上げの結果、率で5.17%と1982年以来の大幅な引き上げとなった。また、今年は米国関税措置など例年以上に経営環境が見通せない状況であり、中小企業に今年度の最低賃金引き上げがさらなる影響を与えることは否めない状況である。足下の物価上昇で企業物価も上昇しており、とりわけ中小・小規模事業者においては、労務費を含めた価格転嫁が困難で出来ていない企業が多くある中、地域別最低賃金は慎重に審議すべきである。

公益からは、過去最高となる高い目安額(63円)が示され、使側の抵抗が強いこと、また、労側の主張として最賃を引上げていくとの考え方も十分理解する。金額に関しては労使の差が大きく意見の一致をみるに至らなかったことから、公益見解として目安と同額の+63円という金額が示された。

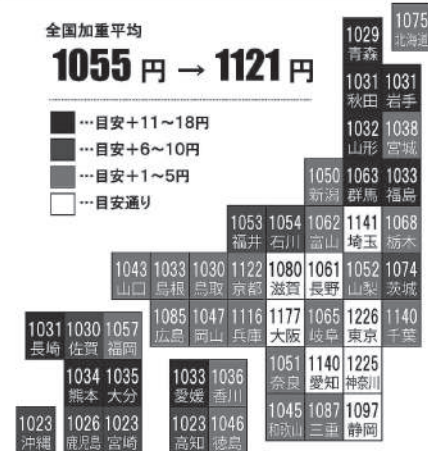
結果、労側反対・使側一部反対で現行最低賃金に+63円の1,080円で結審した。

2025年地域別最低賃金改定マップ

全国加重平均

1055円 → 1121円

■...目安+11~18円
■...目安+6~10円
■...目安+1~5円
□...目安通り



2026年度政策・制度要求と提言を滋賀県に提出

連合滋賀は働く者・生活者の立場から毎年滋賀県に対し、要求・提言を行っています。8月4日(月)に滋賀県へ「2026年度政策・制度要求と提言」の要求書を提出しました。今回は、重点項目として以下の内容を滋賀県へ提出し、10月の部局協議、11月に総括協議と議論を重ねてまいります。

<提言・要求の重点ポイント>

中小企業への支援強化/持続可能な社会・公共インフラの整備促進/雇用の安定と公正な労働条件の確保/ジェンダー平等で多様性を認め合う社会の実現/滋賀に住まうすべての世代が安心して生活ができる環境整備/教育の機会均等の実現と学校の働き方改革を通じた教育の質の向上 など



連合滋賀2026年度政策・制度要求書はこちら



連合滋賀議員団会議第35回総会・ネットワーク会議

8月5日(火)に琵琶湖ホテルにて第35回定期総会・ネットワーク会議を、議員団会議、連合滋賀役員、地協役員あわせて65名の参加のもと開催しました。2025年度役員体制では引き続き田中松太郎県議を会長、河井昭成県議を幹事長とした体制を確認しました。

ネットワーク会議では、今後の滋賀県の地域公共交通のあり方について、市町が行っている地域公共交通維持の取組事例や、働く現場の声、滋賀県の行政の考え方などを踏まえて議論を行いました。

各市町の地域公共交通維持の取組事例報告



嘉田修平 大津市議会議員
「大津市の公共交通政策」



森田充 彦根市議会議員
「湖東圏地域公共交通計画」



田村隆光 栗東市議会議員
「草津・栗東・守山くるとバス」



福井寿美子 守山市議会議員
「デマンド乗合交通もーりカー」



福井進 甲賀市議会議員
「甲賀流公共ライドシェア」



三宅政仁 竜王町議会議員
「学生通学助成制度」

働く現場の声

「バス運転手の現状と課題」江若交通労働組合 竹内幸男 副執行委員長

2002年の道路運送法改正により、「乗合バス事業」の規制緩和が実施され、その結果、「安全性」が後回しになり、バスの事故が多発した。また最低運賃での過当競争の激化や、賃金の上がらない過酷な産業へとなってしまった。

バス運転手の高齢化も進行しており平均年齢50歳以上、また賃金は平均年間収入額が全産業平均に比べ2割少なく、年間平均労働時間は2割長いという「2割の壁」がある。地域公共交通を維持させるためにも、人材確保の最優先課題として地域公共交通を担う人たちの処遇改善が必要である。



滋賀県行政の考え方の説明

「滋賀地域交通計画の策定に向けて」滋賀県土木交通部交通戦略課 福島森 係長



2040年代を見据え、誰もが行きたい時に行きたい場所に行ける持続可能な地域交通を目指している。滋賀県として県民との対話も重ねて検討している中では、現状よりも一定充実を望む声が多く、市町策定の地域公共交通計画をベースに、地域交通カバー率、運行本数、運行ダイヤ、運賃等のサービスレベルによって将来デザインを描いていこうと考えている。

財源のあり方については「新たな税」も選択肢に、あわせて検討をしていく。

第4回 フォトコンテスト最優秀賞決定!

連合滋賀では、滋賀県内で撮影したとっておきの一枚を応募いただく「連合滋賀フォトコンテスト」を企画した結果、今年は2025年4月25日～7月31日までの期間で55点の出品がありました。

応募作品を連合滋賀広報教育委員会が審査した結果、最優秀賞1点、優秀賞1点と、佳作3点を入選作品といたしました。

その他の作品はこちらから



最優秀賞

池田龍太郎さん
東レ労働組合滋賀支部

今年は戦後80年 平和の大切さを 後世へつなぐ

連合近畿ブロック 原爆展

2871名が来場しました!



草津イオンモール



彦根ビハシティ

戦後80年連合滋賀動画メッセージ



平和行動



広島



長崎



沖縄



根室

連合滋賀活動アルバム



淡海リーダーセミナー第12期
最終講座

9月20日琵琶湖ホテル
最終講座では、連合滋賀副会長との意見交換、連合芳野女子会長の講演から学びを深める!



中小労組連絡会議
「労使交渉能力向上セミナー」

9月21日フェリエ南草津
他労組と情報交換をしながら、労使交渉協議の取り組み方、また戦術について学ぶ



2025
びわ湖クリーンキャンペーン

9月6・7・21日県下9か所
滋賀県の宝である琵琶湖を守り、美しい琵琶湖を次世代へ引き継ぐ!

ワークルール検定

2025 秋

11月28日(金) 29日(土)

10:00~
17:00
(最終開場時間)

申込方法など
詳細はこちら

